

北宇都宮駐屯地開設50周年記念行事で広報展！



展示されているヘリの前で制服試着をして記念撮影



エプロン地区には消防や警察など自衛隊以外の航空機も多数展示されていた。



来場者で賑わう地本ブース



自前の陸自装備でヘルメット試着



制服試着をする親子



地本ブースの前は航空ショーの絶好ポイント

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 恒一郎（陸佐））は5月27日（土）、北宇都宮駐屯地で実施された開設50周年記念行事において広報展を実施した。

当日は晴天に恵まれ、絶好のイベント日和となった。数年ぶりの一般開放ということもあり、家族連れを中心に多くの来場者で賑わい、航空機の地上滑走や高機動車の体験試乗などたくさんの催し物が開催された。

地本のブースでは制服試着、スロトルル&操縦桿体験及び自衛官募集コーナーなどを設け、多くの来場者が記念撮影などをして楽しんでいた。写真を撮っていた来場者からは、「地元に住んでいます。ずっと、航空自衛隊だと思っていたので、陸上自衛隊と知ってびっくりしました。航空機が好きなので今日のイベントはとてうれしいです」と話してくれた。

栃木地本は「今後も、駐屯地と連携を密にし、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。



制服試着をするなりきり自衛隊キッズ



操縦桿体験をする親子